MA2609-A
© 2026 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

取扱説明書

ウオッチ

3597＊JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書ではイラストを簡略化しています。形状や文字の見え方は、実際の製品と異なる場合があります。

2026年9月作成

この時計の特長

◆ マルチタイム

時刻モードのとき、4都市の時刻(T-1：タイム1～T-4：タイム4)を切り替えて見ることができます。

◆ ワールドタイム

世界31タイムゾーン(48都市)の時刻を表示させることができます。

◆ アラーム(5本)・時報報知

アラームは5本セットでき、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすことができます。

◆ タイマー

1秒単位で24時間までセットでき、1/10秒単位で減算計測を行います。

◆ ストップウオッチ

1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
⚠ **警告**	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ **注意**	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠危険

電池について

ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

⚠警告

スクーバダイビングに使用しない

本機をスクーバダイビングに使用しない。
本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない



本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

ご使用にあたって

時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長 1

安全上のご注意 2

操作のしくみと表示の見方 8

ライト点灯について 10
- ボタンを押して点灯させる 10
- ライト点灯時間の切り替え 10

グラフィック表示について 11

操作音について 11
- 操作音のオン／オフ設定 11

マルチタイムの使い方 12
- T-1 ～ T-4 の表示を切り替えるには 12
- ローカルタイム都市 T-2 ～ T-4 の都市を変更するには 13
- ホームタイム都市を入れ替えるには 13

ワールドタイムの使い方 14
- 都市のサーチ 14
- サマータイム（DST）について 14
- サマータイムの設定 15
- ホームタイム都市を入れ替えるには 15
- 都市コード一覧 16

アラーム・時報の使い方 17
- アラームについて 17
- アラーム時刻と種類のセット 17
- アラームのオン／オフ設定 19
- 鳴っている電子音を止めるには 19
- モニターアラーム 19
- 時報について 19
- 時報のオン／オフ設定 19

タイマーの使い方 20
- タイマーのセット 20
- タイマーの使い方（減算計測のしかた） 21

ストップウオッチの使い方 22
- 計測のしかた 22

時刻・カレンダーの合わせ方　23

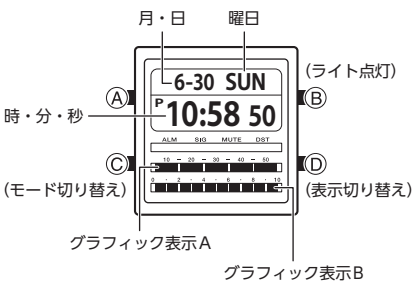
時刻・カレンダーの合わせ方
（ホームタイムの設定）..... 23

製品仕様 25
ご使用上の注意..... 26
お手入れについて..... 29
電池交換について..... 30
金属バンドの駒詰めについて 30

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
- アラームモードで 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード

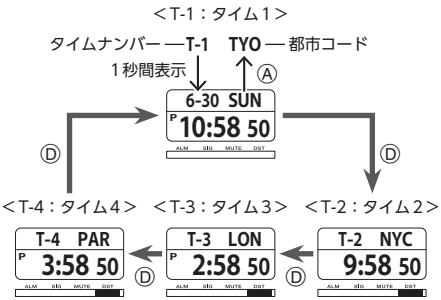


★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火
WED：水　THU：木　FRI：金　SAT：土

● マルチタイム

- Ⓓ ボタンを押すごとに 4 都市の時刻（T-1：タイム 1 ～ T-4：タイム 4）を切り替えて見ることができます。
- ホームタイム（T-1：タイム 1）に設定している都市を確認するときは、Ⓐ ボタンを押します。



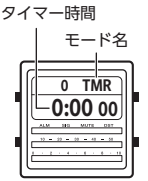
ストップウオッチモード



P-22

©

タイマーモード



P-20

©

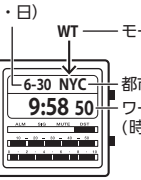
アラームモード



P-17

©

ワールドタイムモード



P-14

©

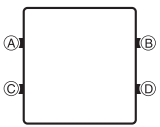
ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも表示を確認することができます。

■ ボタンを押して点灯させる

どのモードのときでも

Ⓑ ボタンを押します



➟ Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

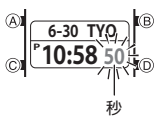
- 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます。
- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。

■ ライト点灯時間の切り替え

1. **セット状態にする**

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます



➟秒が点滅します。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. **ライト点灯時間の設定状態にする**

Ⓒ ボタンを 9 回押します

3. **点灯時間を選ぶ**

Ⓓ ボタンを押します

➟ Ⓓ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

- LT1 ＝約 1.5 秒
- LT3 ＝約 3 秒

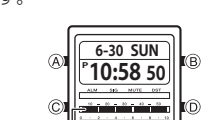
4. **セットを終わる**

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

グラフィック表示について

本機にはグラフィック表示があり、時計の表示に連動して点灯／消灯します。



● グラフィック表示 A
時刻モード・ワールドタイムモードにおいて、時刻に連動して点灯／消灯します（10 秒単位）。タイマーモード・ストップウオッチモードにおいては、計測に連動して点灯／消灯します（1/10 秒単位）。

● グラフィック表示 B
時刻モード・ワールドタイムモード・タイマーモード・ストップウオッチモードにおいて、秒に連動して点灯／消灯します。

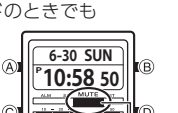
操作音について

モード切り替え時などに鳴る操作音のオン／オフを切り替えることができます。

■操作音のオン／オフ設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓒ ボタンを 3 秒以上押し続けます



➡確認音が鳴り、操作音のオン／オフが切り替わります。

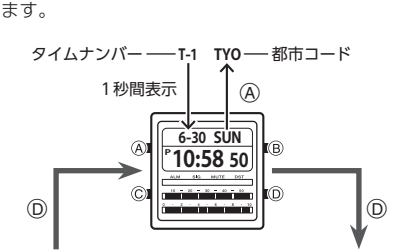
- 操作音をオフにしているときは、MUTE マークが点灯します。
- Ⓒ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。
- 操作音がオフでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

マルチタイムの使い方

時刻モードのとき、4都市の時刻 (T-1：タイム 1 ～ T-4：タイム 4) を切り替えて見ることができます（マルチタイム機能）。T-1 ～ T-4 にはそれぞれ違う都市を設定することができます。T-1 がホームタイムとなり、T-2 ～ T-4 はローカルタイムとしてホームタイムで設定した時刻に連動します。ホームタイム以外に頻繁に時刻を見たい都市を T-2 ～ T-4 に設定しておくと便利です。

■T-1 ～ T-4 の表示を切り替えるには

Ⓓ ボタンを押すごとに、以下のように時刻表示が切り替わります。



- ホームタイム都市の時刻を表示中に Ⓐ ボタンを押すと、月・日・曜日の表示が、都市コードと“T-1”表示に切り替わります（約 1 秒間）。
- ホームタイム都市（T-1）のみ、時刻の修正ができます。
- ローカルタイム都市（T-2 ～ T-4）は、都市と DST 設定 (UTC 以外) の切り替えのみできます。

■ローカルタイム都市 T-2 ～ T-4 の都市を変更するには

1. **セット状態にする**

変更したいローカルタイム都市を表示中に

Ⓐ ボタンを 2 秒以上押し続けます

➠都市コードが点滅します。

- 設定できる都市の詳細については、16 ページ「都市コード一覧」を参照してください。

2. **都市コードを選ぶ**

Ⓓ・Ⓑ ボタンを使って都市コードを選びます。

3. **サマータイム（DST）* のオン／オフを選ぶ**

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとにオン／オフが切り替わります。

- OFF ＝サマータイムオフ（通常時間）
  On ＝サマータイムオン（夏時間）

* サマータイム（DST）については 14 ページ参照。

4. **セットを終わる**

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

■ホームタイム都市を入れ替えるには

ホームタイム都市（T-1）とローカルタイム都市（T-2 ～ T-4）を入れ替えることができます。

1. **ホームタイム都市に設定したい都市を選ぶ**

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➠T-2 ～ T-4 の中からホームタイム都市に設定したい都市を選びます。

2. **ホームタイム都市を入れ替える**

Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➠***1.*** で選んだ都市がホームタイム都市になります。

ワールドタイムの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 31 タイムゾーン（48 都市）の時刻を簡単に知ることができます。

- ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
- ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
- ホームタイム（基本時刻）を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

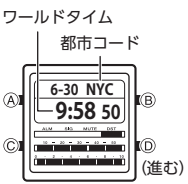
■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➠ Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進みます。

- ボタンを押し続けると早送りします。



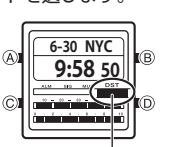
■ サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域によって異なり、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、サマータイム設定したい都市コードを選びます。

Ⓐ ボタンを 2 秒以上押し続けます



DSTマーク

➟DST マークが点灯して、サマータイム設定 * になります。

* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より 1 時間早まります。

- DST マークが点灯しているときに、Ⓐ ボタンを 2 秒以上押し続けると通常の時刻に戻ります。
- 都市ごとにサマータイムの設定ができます。

■ ホームタイム都市を入れ替えるには

ホームタイム都市（T-1）とワールドタイムを入れ替えることができます。

1. **ホームタイム都市に設定したい都市を選ぶ**

ワールドタイムモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➟ホームタイム都市に設定したい都市を選びます。

2. **ホームタイム都市を入れ替える**

Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➟***1.*** で選んだ都市がホームタイム都市になります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名
PPG	− 11	パゴパゴ
HNL	− 10	ホノルル
ANC	− 9	アンカレジ
YVR	− 8	バンクーバー
LAX		ロサンゼルス
YEA	− 7	エドモントン
DEN		デンバー
MEX	− 6	メキシコシティ
CHI		シカゴ
NYC	− 5	ニューヨーク
SCL	− 4	サンティアゴ
YHZ		ハリファックス
YYT	− 3.5	セントジョンズ
RIO	− 3	リオデジャネイロ
FEN	− 2	フェルナンド・デ・ノローニャ
RAI	− 1	プライア
UTC	0	<協定世界時>
LIS		リスボン
LON		ロンドン
MAD	+ 1	マドリード
PAR		パリ
ROM		ローマ
BER		ベルリン
STO		ストックホルム

コード	時差	都市名
ATH	+ 2	アテネ
CAI		カイロ
JRS		エルサレム
MOW	+ 3	モスクワ
JED		ジェッダ
THR	+ 3.5	テヘラン
DXB	+ 4	ドバイ
KBL	+ 4.5	カブール
KHI	+ 5	カラチ
DEL	+ 5.5	デリー
KTM	+ 5.75	カトマンズ
DAC	+ 6	ダッカ
RGN	+ 6.5	ヤンゴン
BKK	+ 7	バンコク
SIN	+ 8	シンガポール
HKG		香港
BJS		北京
TPE		台北
SEL	+ 9	ソウル
TYO		東京
ADL	+ 9.5	アデレード
GUM	+ 10	グアム
SYD		シドニー
NOU	+ 11	ヌーメア
WLG	+ 12	ウェリントン

- この表は 2026 年 1 月現在の情報を元に作成しました。
- この表の時差は協定世界時（UTC）が基準になっています。
- 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

本機には、時刻を設定できる 5 つのアラームがあり、それぞれ以下の種類に設定できます。

- デイリーアラーム　：毎日、設定した時刻にアラームが鳴ります。
- ワンタイムアラーム：一度報音したら自動的にオフになります。

アラームは、ホームタイム（T–1）の時刻と一致したときに報音します。

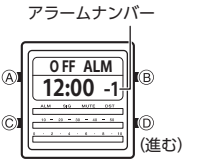
■ アラーム時刻と種類のセット

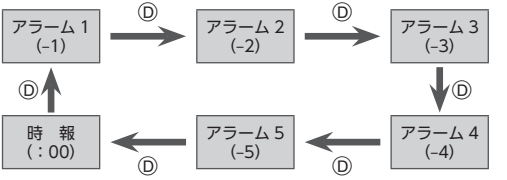
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



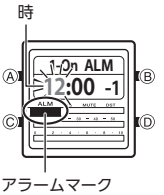


2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます

➠「時」が点滅します。

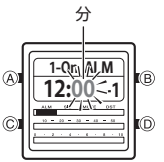
- 自動的にワンタイムアラームオンになります。
- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

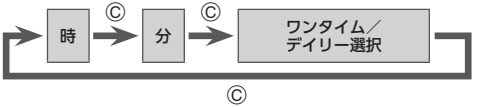


3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➠Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。





4. 点滅箇所をセットする

● アラームの時刻をセットする場合

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

● アラームの種類をセットする場合

Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに設定が以下のように切り替わります。

1-On：ワンタイムアラームがオンの場合
On ：デイリーアラームがオンの場合

手順 *3.* ～ *4.* の操作を繰り返して、アラームの時刻と種類をセットします。

- 「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
- 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

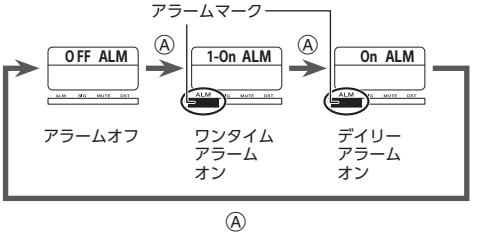
➠点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームのオン／オフ設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➠ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの設定が以下のように切り替わります。



- アラームマークが点灯しているときがオンとなり、アラームが鳴ります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報のオン／オフ設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➠ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報のオン／オフが切り替わります。

- 時報マークが点灯しているときがオンとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



タイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は 1 秒単位で 24 時間までセットすることができ、1/10 秒単位で減算計測を行います。

■ タイマーのセット

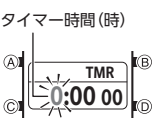
1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます

➟タイマー時間の「時」が点滅します。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
- 1 秒単位で 24 時間までセットできます。
- タイマー時間を 24 時間に設定するときは、表示を “0:00 00” にします。

3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➟「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

4. 「秒」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➟「秒」が点滅します。「秒」も「時」・「分」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まりセット完了です。

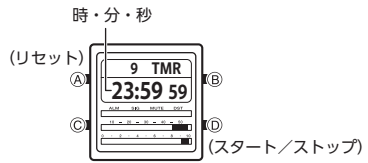
■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➟ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

- 計測は 1/10 秒単位で行います。
- 計測中はグラフィック表示が点灯／消灯します。



- タイムアップすると、アラーム音が約 10 秒間（またはいずれかのボタンを押すまで）鳴ります。このとき自動的に計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ 計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

ストップウオッチの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

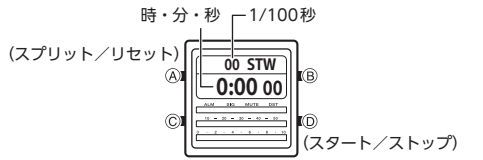
ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➠ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
- 計測中はグラフィック表示が点灯／消灯します。



★ 計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL” 表示）。
- スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★ 計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート ➠ Ⓓ ストップ ➠ Ⓐ リセット

<積算計測>
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート ➠ Ⓐ スプリット（“SPL”表示） ➠ Ⓐ スプリット解除 ➠ Ⓓ ストップ ➠ Ⓐ リセット

●1・2 着同時計測

Ⓓ スタート ➠ Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） ➠ Ⓓ 2着ゴール ➠ Ⓐ 2着タイム表示 ➠ Ⓐ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

時刻やカレンダーをセットできるのは「T-1（ホームタイム）」だけです。
セット状態にする前に、8 ページ、12 ページをご覧になり、時刻モードで「T-1（ホームタイム）」を表示してください。

■ 時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイムの設定）

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを 1 秒以上押し続けます



➠「秒」が点滅します。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➠「00 秒」からスタートします。

- 秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。

3. サマータイム（DST）* のオン／オフを選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します



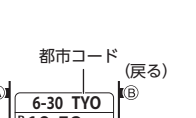
➠ Ⓓ ボタンを押すごとにオン／オフが切り替わります。

- OFF ＝サマータイムオフ（通常時間）
  On ＝サマータイムオン（夏時間）

* サマータイム（DST）については 14 ページ参照。

4. ホームタイム都市を設定する

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➠ Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」* が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

* 16 ページ「都市コード一覧」参照。

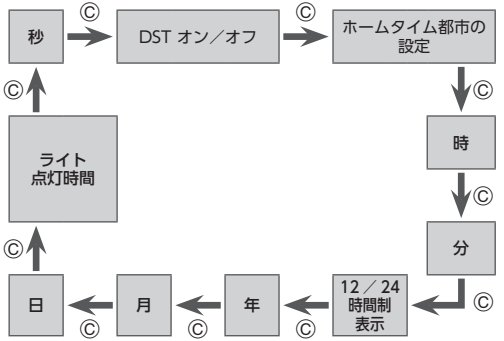
- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。





b. Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 a. と b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーをセットします。

- 「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
- 「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

● 12/24 時間制表示切り替え

Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” とが切り替わります。

● ライト点灯時間の切り替え

10 ページ「ライト点灯時間の切り替え」を参照してください。

6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

精　　度：平均月差± 30 秒以内

基 本 機 能：時・分・秒、午前／午後 (P) ／
24 時間制表示、月・日・曜日、
フルオートカレンダー
(2000 ～ 2099 年)

マルチタイム機能：ホームタイム 1 都市、
ローカルタイム 3 都市

ワールドタイム機能：世界 31 タイムゾーン（48 都市）の時刻を
表示、サマータイム設定機能

アラーム機能：時刻アラーム（ワンタイム／デイリー）5 本
セット単位　時・分
電子音　10 秒間
時報
毎正時に電子音で報時

タイマー機能：セット単位　1 秒
計測単位　1/10 秒
計測範囲　24 時間

ストップウオッチ機能：計測単位　1/100 秒
計測範囲　23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能　通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測

そ の 他：自動復帰機能、
サマータイム設定機能、
12/24 時間制表示切り替え、
モニターアラーム、LED ライト、
操作音オン / オフ切り替え

使 用 電 池：CR1616　1 個
公称電圧　3V

電 池 寿 命：約 3 年
（ライト 1.5 秒間／日、電子音 10 秒間／日
使用した場合）

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■ 防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

● 専門的な潜水＝スクーバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ 温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● ＋ 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

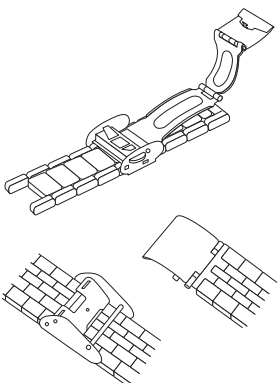
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問い合わせ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543
東京都渋谷区本町1-6-2